

第2回 こんな公園あったらいいなコンクール

■実施体制

主催：毎日新聞社、一般社団法人日本公園緑地協会

後援：国土交通省、全国都市公園整備促進協議会

■応募期間 2017年2月15日（水）～4月14日（金）

■応募数 547点

■審査会 2017年4月20日（木）

【賞】

国土交通大臣賞	1点
毎日新聞社賞	1点
日本公園緑地協会会長賞	1点
審査員特別賞	1点
入選	6点
計	10点

■表彰式及び記念鼎談

【開催日】2017年5月13日（土）

【会場】日比谷コンベンションホール（日比谷公園内）

受賞作品

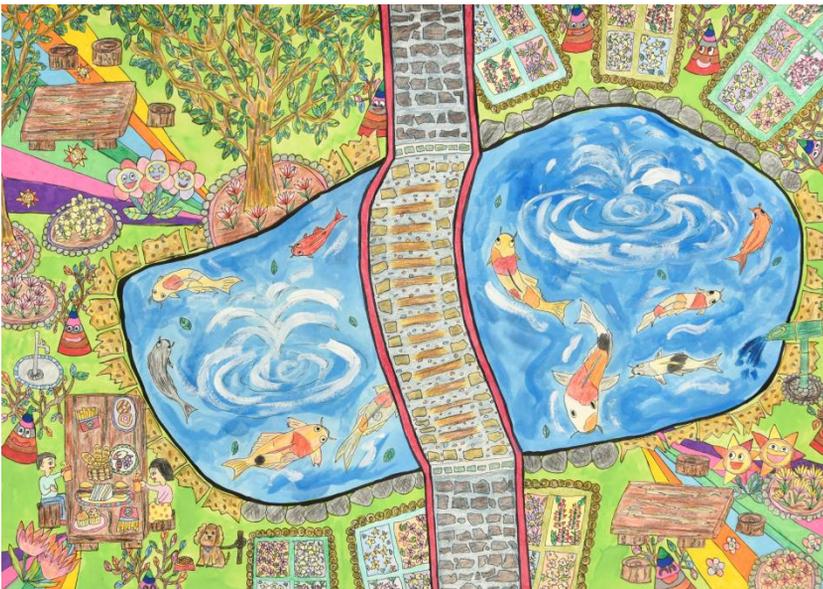
■ 国土交通大臣賞



「ミラクルアドベンチャー大公園」 高知市立一ツ橋小学校 3年 島田 百璃乃さん

公園のまん中にもものすごく大きな木があって、ジェットコースターやロープコースターがはりめぐらされています。その他のどのゆう具も安全そうちをつけるほどのハラハラドキドキな体けんができます。私のよく行く公園にも木がたくさんあるけど、こんなにもものすごく大きな木でこんなゆう具があったら毎日チャレンジしたいです。いろいろなゆう具をかいたので色をぬるのが大へんだったけれど、どの色にするか決めるのが楽しかったです。

■ 毎日新聞社賞



「自然いっぱいえがおがさく公園」 米子市立淀江小学校 4年 森脇 悠月さん

花や緑の自然がいっぱいあって、みんなのえがおもいっぱいあるカラフルで楽しくてゆめのある公園をかきました。

受賞作品) 入選



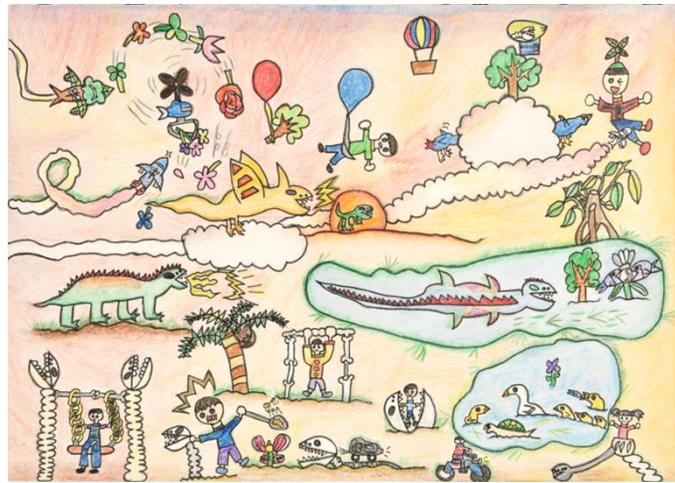
「ねここうえん」

旭たちばな幼稚園 年長 小金澤 優和さん

よるにあそべるこうえんです。

めがひかってあかるいよ。

ゴトゴトでんしゃにのってあそぶよ。



「夕日がきれいなきょうりゆう公園」

市川市立行徳小学校2年 新山田 陽仁さん

きょうりゆうとなかよくあそべる公えんをかきました。夕日の色の出しかたや、はくりよくのあるきょうりゆうなどをひょうげんすることが、たいへんでした。



「エネルギー公園」

市原市立東海小学校2年 徳政 昴春さん

みんなの遊ぶ動力やまぶしい太陽や風の力でたくさんエネルギーを生みだす公園。エネルギーをためるドームの中はたくさんの野菜が育つのでみんなに配る。エネルギー100%になるとその町の人みんなにエネルギーをわけることができる。外であそぶだけでみんながうれしくなる公園。

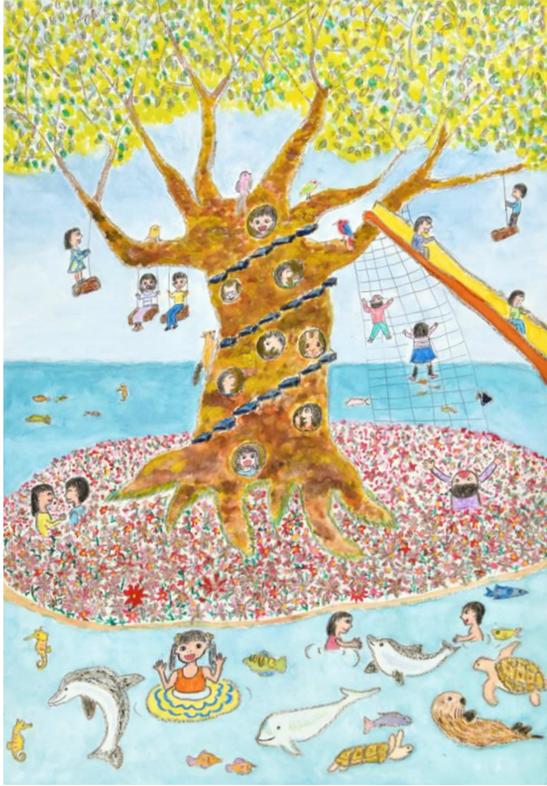


「月のかぐやひめ公園」

東星学園小学校 4年 福中 美尋さん

かぐやひめが住んでいる月の公園をイメージしました。いろいろな花がさいていて、竹林があって、きれいなちょうちょうがたくさん飛んでいます。地球と月は、エスカレーターでつながっています。子どもや動物でも、かんたんに月へ行けます。わたしは動物や植物がすきなので、月にもこんな公園があったらいいなと思ってかきました。月の公園で、かぐやひめと遊びたいです。月から見た地球は、きっときれいだと思います。

受賞作品) 入選



「みんなの木」

流山市立長崎小学校 5年 今西 紗世さん

この公園には大きな木があつて、その木の下で人と動物と魚が仲良く遊ぶことができます。木に登って遊んだり動物や魚がたくさんいる公園があつたら楽しくて行ってみたいとなると、思ってこの絵を描きました。



「空・木・海のある人も動物も植物もみんなが楽しくなれる公園」

相模原市立内郷小学校 6年 中条 匠晴さん

大きな木が空と海をつなげた公園です。ここでは空や海の生き物と友達になれます。実はこの生き物は1人が1つ管理しています。大きなクジラやイルカのような家では飼えない生き物もここでならOK! 野良ネコ・野良犬など行き場が無い動物もここでは家があります。木や花も植えて育てられます。ここに来ると一人ぼっちじゃなく、みんなが楽しくなれます。

じょう渡会で猫を引き取った時に、人も動物も虫も植物もみんなが幸せになれる公園があればいいと思いました。資源を大切にしたいと思い切り紙は包装紙などを再利用しました。